

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人

住田町社会福祉協議会

| | |
|---------------------------|-------|
| 令和3年度活動状況（総論） | 1 |
| 1. 法人運営の基盤整備 | 3 |
| 2. 地域福祉事業の推進 | 4 |
| (1) おだけあさまのまちづくり | 4 |
| (2) やんべあに暮らせるまちづくり | 5 |
| (3) おもしろえぐ暮らせるまちづくり | 7 |
| 3. 在宅福祉活動の推進 | 9 |
| 3-1 居宅介護支援事業（ケアマネ事業） | 10 |
| 3-2 訪問介護事業（ヘルパー事業） | 11 |
| 3-3 訪問入浴事業 | 12 |
| 3-4 グループホームかつこう | 13 |
| 3-5 とだて通所介護事業所（デイサービス事） | 14 |
| 3-6 アンルス通所介護事業所（デイサービス事業） | 15 |
| 3-7 障がい者福祉サービス支援 | 16 |
| 3-8 高齢者福祉センター（アンルス居住） | 16 |
| 令和3年度 庶務報告 | 17～23 |



総論

令和3年度の活動状況

今年度は、社協事務局の急な体制の変更から、法人運営のみならず相談事業にも遅れが生じ、多くの皆様に大変なご迷惑をおかけすることとなりました。

そのような中、この混乱を乗り越えることが出来たことは、役職員の協力のみならず、広域社協、県社協をはじめとする関係機関からの、ご指導、ご支援があったからこそと感謝の気持ちで振返っております。

今後このようなことが起こらないよう、職員のメンタルヘルス個別相談の実施、ワークライフバランスやハラスメント等の研修、仕事と家庭の両立や職場環境の整備などにも力を入れて取り組んでまいりました。

苦しみながらの1年でしたが、この事態から得るものも大きく、役職員一同で組織や業務体制を見直ししてきたことは、これからの社協の大きな財産になりうるものだと自負しております。

法人運営の基盤整備

今年度は評議員の改選期であったことから、この機に評議員数の選出基準の見直しをおこなひ、評議員数を10名～15名へ縮小、併せて多くの地域団体から推薦を頂き、関係団体を増やし、社協を様々な視点で点検してもらえるような体制としました。

町との関係においては、今年度初めて町長・会長懇談会を開催し、事業での結びつきが深い保健福祉課長にも同席していただき、社協の事業や運営状況をより理解していただくとともに、連携の必要性についてお互いに再確認いたしました。今後は、町長との懇談に他の関係課長にも同席していただいて実施し、住田町の課題の共有や解決に向けての情報交換を行っていきたいと考えております。

社協事業全般を見直していくための企画運営の場として組織した企画委員会につきましては、昨年度は1回のみ開催でしたが、今年度は7回の開催となり、その役割を担ってきました。

地域福祉活動の推進

新型コロナウイルスのまん延は、私たちの生活に重い影を落としつつあります。生活福祉資金の貸付事業、生活困窮者自立支援事業における相談が増えていることがそれを表わしているものと捉えております。今年度はコロナ過のため、重点項目に挙げていた防災福祉マップ事業が全く行えなかったことは非常に残念でなりません。新型コロナ感染拡大防止が第1命題となり、あらゆる事業に影響が出たことは否めません。

成年後見制度に関する相談の件数は、窓口を開設したことから増加しており、徐々に住民の中に浸透してきているように感じております。保健福祉課と共同で作成したミニドラマが、住田テレビで放映されたこともその一助であると捉えております。

カフェ事業で行っていた「北国の春体操」について、多くの住民参加で映像化し、住田テレビで放映したところ大きな反響があり、大変うれしい出来事となりました。

また、コロナ禍ではありましたが、今年度規模を縮小しての福祉大会及び大樹祭を開催することが出来ました。感染予防対策について最大限の配慮をしながら、工夫が凝らされた満足のいく大会が開催できたものと感じております。職員の知恵と工夫が困難を乗り越える大きな力であることを確信しました。

在宅福祉活動（介護保険事業等）の推進

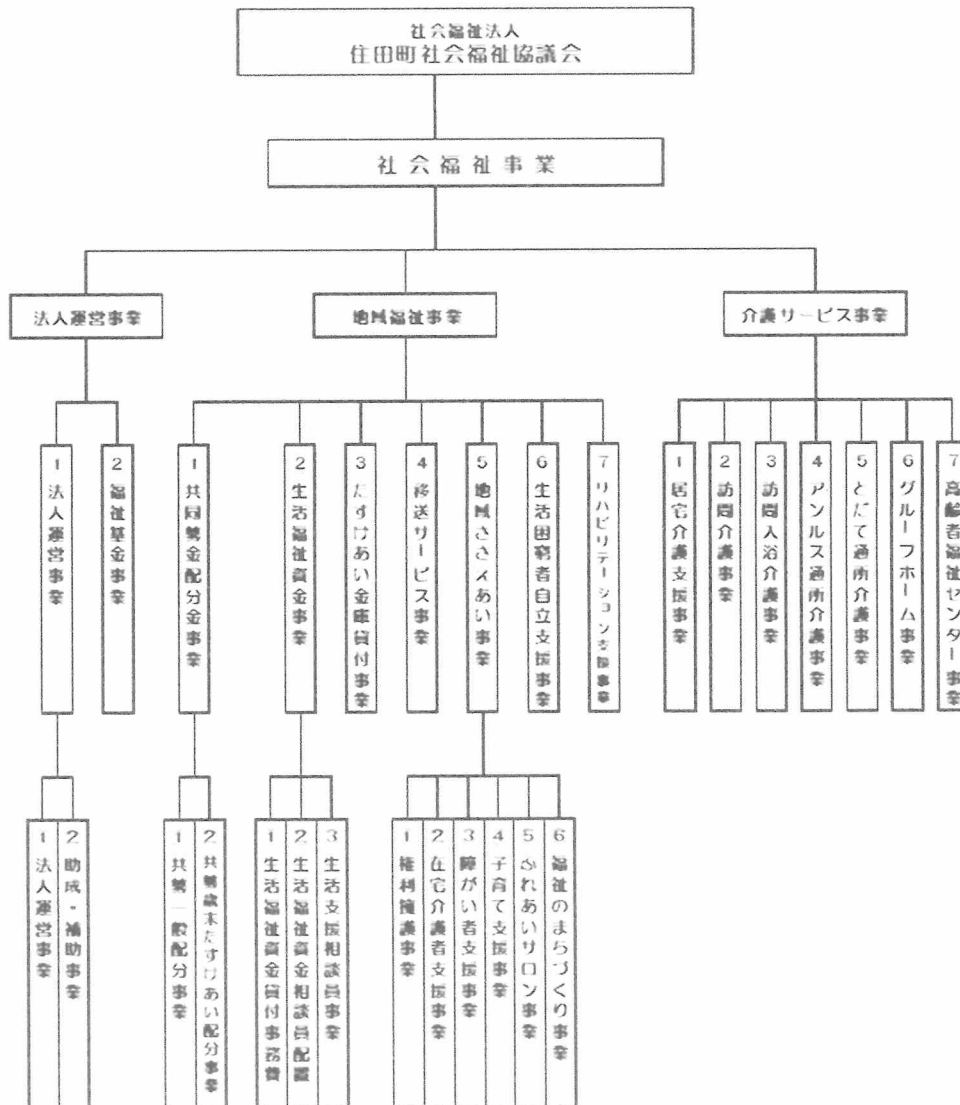
介護保険事業は、昨年度大幅な収益減となっており、とだてリハ開始にあたって2か月間の移行期を設けたことで週2日分の収入が減ったこと、また在宅要介護者の減少に伴う訪問介護の依頼件数が減ったことなどが要因と捉えております。

しかし、とだてリハの10月正式開所後は順調に利用者数を増やしていることから、来年度は火曜日を午前・午後の2単位制に変更し、利用者増を図ってまいります。

介護予防事業は、介護事業と比べると収益こそ少ない事業ですが、高齢者が要介護状態になるのを未然に防ぐなどの大きな効果があります。今後ともより質の高いサービス提供を目指して取り組んでいきます。

高齢者生活福祉センター「アンルス」においては、利用者の重度化が進んでいることから、今年度からはその対応のため宿日直を職員が対応することとしました。呼びかけにより職員の協力も得られ、初の試みでしたが順調に終了することが出来ました。今年度は利用者の緊急入院や、施設訪問者による新型コロナの感染予防対策など、例年とは異なる状況があったにもかかわらず、大きな困難もなく入居者が安全に過ごせたことは評価できる点だと感じています。

住田町社会福祉協議会の事業体系図（社会福祉法人会計基準による）



1. 法人運営の基盤整備

(1)会の運営

| 項目 | 回数 |
|-------|-----|
| 理事会 | 5回 |
| 評議員会 | 2回 |
| 定例監査 | 4回 |
| 三役会 | 12回 |
| 企画委員会 | 7回 |
| 管理者会議 | 12回 |

(2)社協会員加入の促進

| - 一般会員(町内各世帯) 1口1,000円 | | | |
|------------------------|----|---------|------------|
| | R2 | 1,713世帯 | 1,713,000円 |
| | R3 | 1,691世帯 | 1,691,000円 |

| - 賛助会員 1口 3,000円 | | | |
|------------------|----|-----|---------|
| | R2 | 11件 | 42,000円 |
| | R3 | 11件 | 42,000円 |

(3)役職員研修

- 10月6日・7日 令和3年度岩手県社会福祉研修「法人役員研修」 監事1名参加
- 11月11日 気仙地区社会福祉協議会役員連絡会役員研修会
「市町村社会福祉協議会の役割と中期経営計画の策定について」
役員・事務局 9名参加
- 12月6日 「令和3年度市町村社協経営研究会」 事務局長参加・発表
- 12月23日 「住田社協役員研修会」 役職員75名参加
- 事業所単位では必要研修実施(感染予防、認知症介護等)
- 全職員対象としてワークライフバランス、ハラスメント研修等WEB研修の実施

(4)職員所持資格状況(重複あり)

| 資格 | R3.3.31現在 | R4.3.31現在 | 増減 |
|-------------|-----------|-----------|-----|
| 介護福祉士 | 42 | 40 | △ 2 |
| (主任)介護支援専門員 | 12 | 12 | 0 |
| 社会福祉士 | 6 | 5 | △ 1 |
| 精神保健福祉士 | 1 | 1 | 0 |
| 看護師・准看護師 | 10 | 8 | △ 2 |
| 保健師 | 1 | 1 | 0 |
| 理学療法士・作業療法士 | 3 | 4 | 1 |
| 社会福祉主事 | 23 | 22 | △ 1 |
| 栄養士・調理師 | 6 | 6 | 0 |
| 簿記 | 2 | 2 | 0 |

2 地域福祉事業の推進

(1) おだげあさまのまちづくり

総合相談窓口での相談件数は前年度より約25%増加。特にコロナが原因の困窮相談が増えた。コロナのため福祉講座やボランティア活動にも制限が必要だったが、工夫しながら活動した。新規のすみたの赤ちゃん応援事業は好評で、ふくしだよりに紹介し子育て世代と地域を繋ぐことが出来た。

| 事業名 | 内容 | 実績 |
|--------------------|---|--|
| ◎総合相談事業【重点】 | <総合相談窓口> 体調や介護、家計など、あらゆる相談に応じた | 相談件数 538件 (前年426件) |
| | <地域福祉会議> 相談を情報共有しチームで対応した | 年51回 |
| ○ささえあい住民講座 | 困りごとを自ら発信し、助けあえる仕組みづくりのための学習会 | コロナ感染拡大にて 世田米R4年6月に延期 |
| ○ちょこっとボランティア事業【新規】 | 生活課題などに対応する有償ボランティアの仕組みづくり | コロナ感染拡大にて着手出来ず |
| ○民生児童委員活動の推進 | 民協の事務局として福祉票の整備や日頃の見守り活動を支援し、有事の際は関係機関との連絡調整を行った | 福祉票整備 373世帯 緊急連絡カード241個設置 全体会6回、地区民協14回 |
| ○小中高校生の福祉講座 | 地域創造学などで、子供のころから福祉への理解を深められるよう支援 | 小中高への福祉講座5校 講座、オンライン、FAX等 |
| ○ボランティア活動連絡会の支援 | ボランティア活動が活発に出来るよう支援 | 1/25 ゲートキーパー養成 町民ホール 14人参加 |
| ○ボランティア養成講座 | 町民やボランティア団体の勉強会を開催し、より多くの方がボランティアに関心を持ち実践できるよう支援 | 8/2 災害ボランティアの いろは 町民ホール 13人参加 |
| ○すみたおたすけ隊 | 中高生とボラ連関係者が高齢者宅の窓拭きや雪かきを実施 | 7/22、12/18 18世帯訪問 延べ参加者88人 |
| ○子育て応援事業 | <すみたの赤ちゃん応援事業> 子育て家族と民生委員や主任児童委員を繋ぐ機会をつくった <小学生入学祝い>名前入り鉛筆贈呈 | 申請者8人(6人応援済み) 新入生17人 |
| ○福祉大会(大樹祭) | コロナ感染拡大防止のため、午後の芸能祭を中止。式典表彰と紺野敏昭氏「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」記念講演(小股出身)の半日開催 | 来場者233人、功労(民生委員6人、共募3社、永年6人)褒賞:12人 福祉写真応募27点、福祉作文応募105点 |

(2) やんばあに暮らせるまちづくり

おたっしや移送サービスは、寝台車の利用が年に3件と少ないため車検更新せず廃車し、今後はリクライニング車イスで対応することとした。

ひきこもり相談支援事業では、月1回開催している心caféの利用があった。社会交流の足掛かりにしたい。

防災福祉マップは、新規作成地区が無かった。PRの仕方を工夫しコロナ禍でも密にならないよう小地区開催を予定。

| 事業名 | 内容 | 実績 |
|--------------|---|--|
| ○シルバー人材センター | 60歳以上の方に登録していただき、経験と技能を活かした就労で、社会参加を推進 | 会員44人(男29女15) 延活動人数1,039人 配分金8,561,167円 |
| ○おたっしや移送サービス | 公共交通機関の利用が難しい方の外出を支援。R4年度からは1台で対応 | 運転登録4人(4年度3人) 移送件数124件 寝台廃車 |
| ○在宅介護者支援事業 | <在宅介護者リフレッシュ事業> <認知症介護家族交流会> 介護の問題を一人で抱えず、介護負担の軽減を図れるよう支援した | 7/26 ラクターヨガ 10人 11/29 認知症のお話、交流会、ミニゲーム&アレンジメントフラワー 8人 |
| ○おげんき見守り電話 | 登録した一人暮らしの方の安否確認 | 登録13人(新規1人) |
| ○振り込め詐欺見張り隊 | 電話詐欺を防ぐための機器貸出 | 3件利用 不審電話対策に期間限定で利用する方も |
| ○福祉用具レンタル事業 | ワクチン接種に車イスを使いたいと希望あり利用者が増えた | 車イス38件、スロープ1件 リクライニング車イス購入 |
| ○成年後見推進事業 | <相談窓口>相談や申立て支援 <町民後見人フォローアップ講座> <成年後見制度の周知啓発>成年後見以外の制度の研修会を開催した | 相談12件 申立て申請無し 11/13、11/20 参加13人 8/30「終活～遺言・相続大丈夫ですか?」受講54人 |
| ○日常生活自立支援事業 | 高齢者や障がいのある人の日常的な金銭管理や各種手続きを代行した。 | 利用11人(高齢2、知的5 精神3、その他1) 延119回 |
| ○生活困窮者自立支援事業 | 低所得や就労ができず困窮している家庭が自立できるよう支援した(前年度相談140件) | 相談241件、自立支援計画策定10件、支援調整会議2回、各種ケース会議29回 |
| ○法律相談所の開設 | 日本司法支援センターからの指定を受け、法律相談を実施。無料期間が終了したことで、相談が減った可能性あり | 1件(5月) ※当日キャンセル1件 役場や関係機関からの問合せ数回あり |

| 事業名 | 内 容 | 実 績 |
|----------------------|---|---|
| ○広報、HP、SNS | <p><ふくしだより発行></p> <p><HPやSNSでの情報発信></p> <p>ふくしだよりを見たところ相談が入ることも。Facebookで町内外の方への情報発信もある程度出来た。ホームページの更新について課題</p> | <p>広報4回(4、8、12、1月)</p> <p>ホームページ更新5回</p> <p>Facebook更新17回</p> |
| ○赤い羽根共同募金運動 | <p><一般配分事業></p> <p>学校や団体、ボランティアが行う福祉活動に対して助成。</p> <p><歳末たすけあい配分事業></p> <p>困窮世帯に配分、地域福祉事業に活用</p> | <p>一般募金総額 1,494,316円</p> <p>配分 22事業</p> <p>歳末募金総額 858,429円</p> <p>在宅 13世帯 151,000円</p> <p>地域福祉関係 664,429円</p> |
| ○ひきこもり相談支援事業 | <p><心café></p> <p><ひきこもり家族の集い></p> <p>窓口の周知、ニーズ把握、情報提供などで本人家族を支援</p> | <p>月1回(第3月)参加1人</p> <p>担当者のオンライン研修2回</p> |
| ◎防災福祉マップ 作成事業【重点】 | <p>新規で作成を希望する地区が無かった。コロナ禍でも災害は起きるため、次年度こそPRを強化し、一地区でも多く作成するよう働きかける</p> | <p>新規作成地区なし</p> <p>作成済み地区の見守り及び安否確認名簿の見直し</p> <p>14自治公民館で作成済み</p> |
| ○福祉避難所の整備運営 | <p>関係機関と連携し、有事の際は福祉避難所を開所する体制を整備した</p> | <p>9/21 福祉避難所の協定締結。今年度開所依頼なし</p> |
| ○災害対応関連 | <p>避難所開設時の支援を行った。また、町内の行政民協消防地区公民館ボラ連福祉など関係機関が一同に会し災害時の連携について話し合った。その他、災害時の初動や、災害ボランティアセンターの運営についての研修を受けた。今年度は行政と災害ボランティアセンターの協定をすすめる</p> | <p>7/27 台風8号避難所支援(職員10人) 9/17 市町村域ネットワーク会議(26人) 12/13 初動研修(2人) 1/14 総合防災打合せ(2人) 2/16 災害ボランティア事前登録とICT活用研修(2人)</p> |
| ○たすけあい金庫貸付事業 | <p>詳細についてはP8別添に記載</p> | |
| ○生活福祉資金貸付事業 | <p>詳細についてはP8別添に記載</p> | |

(3) おもしろく暮らせるまちづくり

よりあいカフェやふれあいサロンで孤立を予防し、世代や障がいを超えて交流した。また、リハビリサロン事業や健康ちょきん事業で介護予防にも取り組んだ。住田テレビとコラボした北国の春体操の新バージョンは大好評。

| 事業名 | 内容 | 実績 |
|----------------------|---|--|
| ○よりあいカフェ事業 | 誰でも気兼ねなく寄りあえるカフェを設置し、認知症、障がい者、ひきこもり者、高齢者の居場所づくりと共に、利用者やボランティアの生きがいを見出し、介護予防と社会参加を推進 <中心型カフェ> 3カ所 <地域型カフェ> 17カ所 | 中心型カフェ計 95回 利用者延 1,147人 ボラ延 198人 地域型カフェ計 192回 利用者延 1,665人 運営延 74人 開催自粛期間訪問延 296件 |
| ○老人クラブ活動の推進 | 老人クラブ連合会の事務局として、クラブ会員の健康や生きがいづくり、ふれあい活動、社会奉仕活動を支援した | 米寿のお祝い 66人 10/20 GB 会長杯 11人 10/21 GG 会長杯 83人 大名湯治 コロナで中止 |
| ○ふれあいサロン事業 | コロナ前は年間 40 回以上開催していたが、お食事メインであったため、開催中止とする地区が多かった | 年 6 回延 155 人 76,820 円 1 区 2 回、26・27 区合同 1 回、32 区 3 回 |
| ○障がい者支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・あゆっこの会 ・障がい者交流会 ・障がい者サークルへの支援 ・障がい者就労準備支援 | あゆっこの会 年 18 回 延 74 人 もくようクラブ 年 35 回 延 43 人 |
| ○室内ゲーム用具貸与事業 | 社協所有の室内ゲーム用具を無料で貸し出し、子供会や地区の交流会に活用体を動かすと共に地域交流を支援 | 輪投げ 2 件 (地域カフェ) ディスゲッター 1 件 (学童) |
| ○リハビリテーション支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリサロン事業 ・健康ちょきん教室 町民の健康づくりや介護予防につとめた | リハビリサロン 10 回開催 フォローアップ 3 回開催 参加者 13 人 健康ちょきん 10 回開催 参加者 12 人 |
| ○住田テレビ「北国の春体操」新バージョン | 住田テレビと共に保育園児、学童、よりあいカフェ利用者、ゲートボール協会、グラウンドゴルフ協会、民生児童委員協議会の協力を得て「北国の春体操」を収録 | 11/6 より絶賛放送中 |

別添

(1) たすけあい金庫貸付事業

たすけあい金庫資金は住田社協が事業主体となり、低所得世帯に対して応急的な資金の貸付を行い、経済的自立と生活意欲の助長を図ることを目的としている。

電気が止まった。病院代が無い。香典費用を貸して欲しいなど早急な貸付に対応した。

貸して終わりではなく、計画的に返済できるよう自立に向けた支援を継続していく。

また、必要に応じて他の貸付事業に繋ぎ、返済出来る見通しが無く貸付が難しい世帯には、フードバンクを募り食料を届けるなど支援し、生活保護に繋いだケースもあった。

令和3年度新規貸付 7件 310,000円

令和3年度償還完了 5件 (借り直し2件)

| | 金額 | 件数 | 年度 | 件数 | 貸付決定額 |
|------------------|-----------|----|-----|----|---------|
| 当期末貸付残元金 (①+②-③) | 1,424,000 | 21 | R3 | 7 | 310,000 |
| 期首貸付残元金 ① | 1,408,000 | 14 | R2 | 6 | 265,000 |
| 新規貸付額 ② | 310,000 | 7 | H31 | 5 | 156,000 |
| 当期償還額 ③ | 294,000 | 14 | H30 | 3 | 80,000 |

(2) 生活福祉資金貸付事業 (県社協より事業委託)

生活福祉資金とは、低所得者や障がい者あるいは高齢者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的な自立や生活意欲の助長を促し、社会参加の促進を図ることを目的とした都道府県社会福祉協議会が実施主体の事業である。

何らかの理由で償還が滞っている借受人等に対し相談を行うとともに、世帯の生活状況の把握に努めた。

令和3年度の新規貸付29件中、コロナ特例貸付は20件。新型コロナウイルスの影響による相談が増加している。

令和3年度新規貸付 29件 教育支援金 7件、福祉費 1件

緊急小口資金 8件 (一般1件、コロナ特例7件)

総合支援資金13件 (一般なし、コロナ特例13件)

内訳 (初回8件、再貸付4件、延長1件)

令和3年度償還完了 9件

令和3年度相談件数 延101件 (36名)

※金額は元金 単位：円

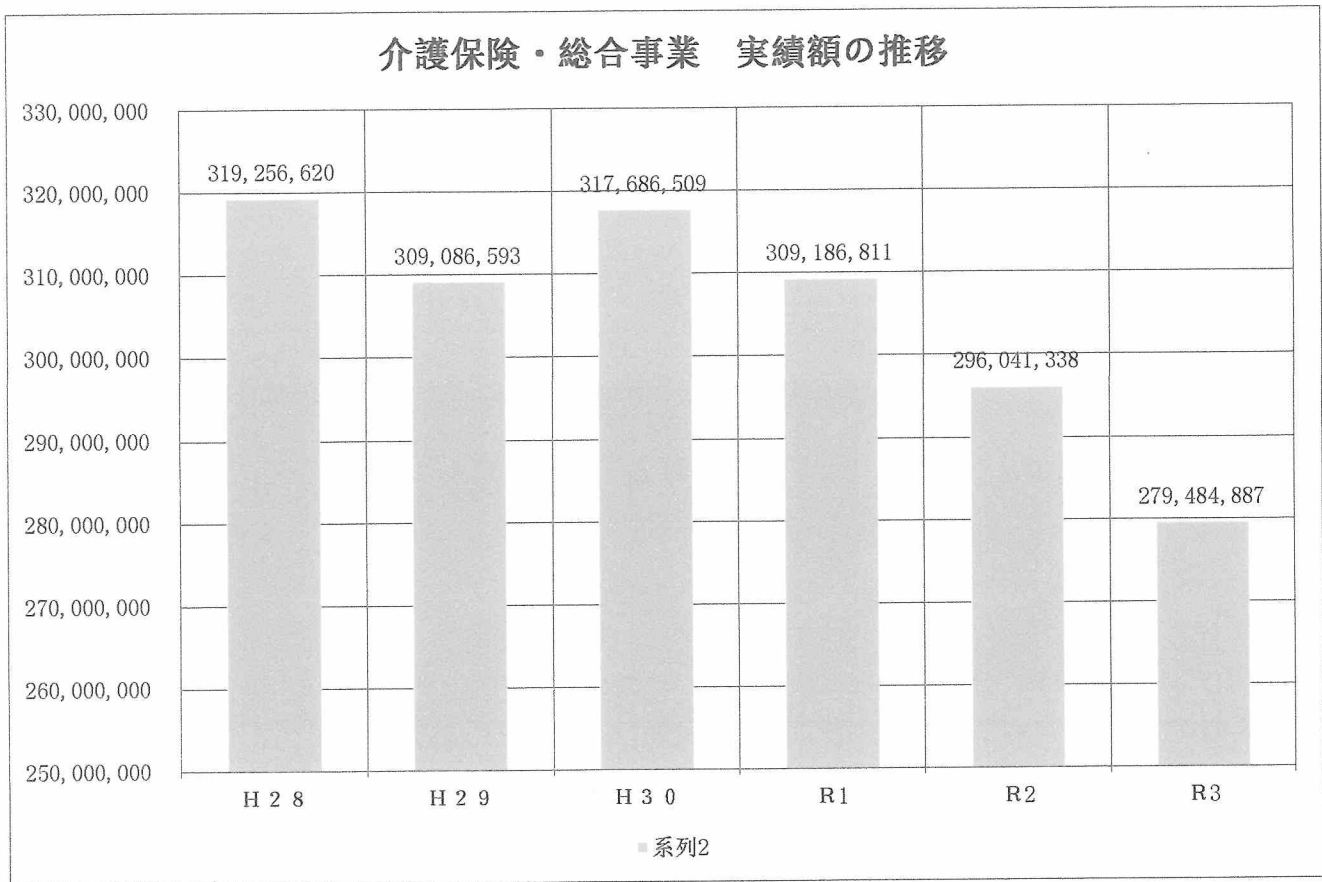
| 資金種 | 貸付件数 | 貸付金合計 | 償還残高 | 年度 | 件数 | 貸付決定額 |
|----------|------|-------------|-----------|-----|----|------------|
| 総合支援資金 | 20 | 10,736,000 | 1,694,151 | R3 | 29 | 20,240,000 |
| 福祉・教育・小口 | 116 | 118,218,000 | 6,957,855 | R2 | 10 | 2,718,000 |
| 離職者支援資金 | 1 | 2,400,000 | 2,187,000 | H31 | 3 | 3,570,000 |
| 計 | 137 | | | H30 | 2 | 578,000 |

◇償還状況 ・貸付期間中件数 (償還がまだ開始されていないもの) …29件

・償還中件数 (償還が開始しているもの) …108件 (うち6回以上延滞24件)

3 在宅福祉活動の推進

介護保険サービス事業の全体の実績額と実人数比較



実績額比較

| 年度 | 実績額 | 前年度差額 | 前年度比 |
|-----|-------------|--------------|------|
| H28 | 319,256,620 | 12,337,396 | 104% |
| H29 | 309,086,593 | △ 10,170,027 | 97% |
| H30 | 317,686,509 | 8,599,916 | 103% |
| R1 | 309,186,811 | △ 8,499,698 | 97% |
| R2 | 296,041,338 | △ 13,145,473 | 96% |
| R3 | 279,484,887 | △ 16,556,451 | 94% |

令和3年3月31日現在の登録者数

| 事業所 | R3 | | R2 | | 前年度比較 | |
|------|-----|----|-----|----|-------|----|
| | 介護 | 総合 | 介護 | 総合 | 介護 | 総合 |
| ケアマネ | 139 | 40 | 172 | 26 | -33 | 14 |
| 訪問介護 | 89 | 22 | 85 | 24 | 4 | -2 |
| 訪問入浴 | 9 | 0 | 16 | 0 | -7 | 0 |
| アンルス | 52 | 19 | 54 | 17 | -2 | 2 |
| とだて | 47 | 38 | 38 | 11 | 9 | 27 |
| かつこう | 9 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 |

3-1 居宅介護支援事業(ケアマネ事業)

ケアマネ事業では、本人及び家族の希望や心身の状況を考慮し、関係機関と連携しながら利用者本人の生活支援を行っています。しかし、コロナ禍において離れて暮らすご家族との連絡調整が困難な場面もあり、ZOOM、LINE、メール、電話等を活用し、ご本人の生活に支障のないように努めました。今後も利用者、ご家族が安心して自宅で過ごせるようにケアマネ相互に協力しながら、事業のさらなる推進を図ってまいります。

※他の事業と兼務する職員あり

| 【職員体制】 | 職員数 | 女 | 男 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート | 主任ケアマネ |
|--------|-----|---|---|-----|----|-----|-----|--------|
| | 6 | 5 | 1 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 |

| 【利用者数】 | | 要介護 | 要支援・総合 | 合計 |
|--------|---------|-------|--------|-------|
| | 月平均利用者数 | 152.3 | 32.4 | 184.7 |

| 年度 | 実績額 | 延給付管理数 | 対前年比 |
|-----|------------|--------|-------|
| H29 | 40,224,820 | 2,577 | 95.5 |
| H30 | 40,934,100 | 2,579 | 101.8 |
| R1 | 38,638,580 | 2,384 | 94.4 |
| R2 | 37,282,540 | 2,227 | 96.5 |
| R3 | 34,580,640 | 2,217 | 92.8 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | R2年度 | R3年度 | 増減 | 令和3年度 | |
|---------|------|------|------|-------|-------|
| | | | | 利用中止者 | 新規利用者 |
| 介護合計 | 2013 | 1828 | -185 | 50 | 27 |
| 支援・総合合計 | 214 | 389 | 175 | 3 | 16 |
| 利用者実績合計 | 2227 | 2217 | -10 | 53 | 43 |

【事故報告】

・法人減免の変更の確認が不十分で料金の再徴収があった。

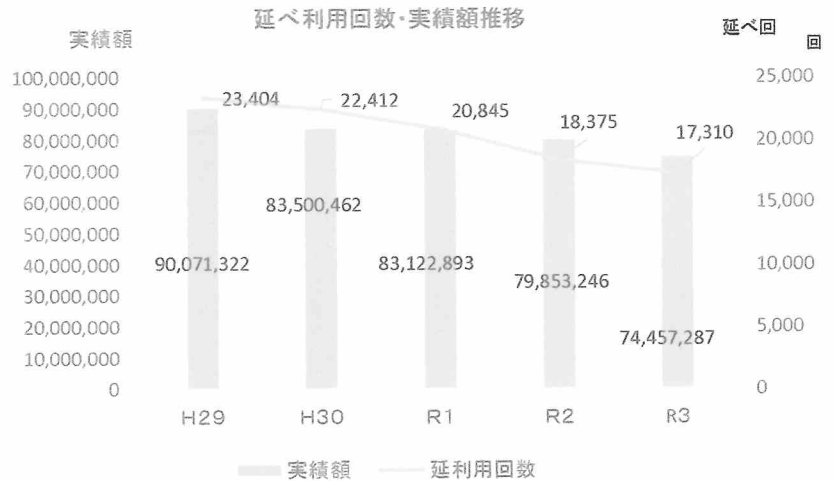
3-2 訪問介護事業(ヘルパー事業)

訪問介護事業所では、できる限り住み慣れた地域で安心、安全に生活できるように介護サービスを行っています。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の町内発生時には各関係機関と情報共有を行い、訪問時には一定期間防護服着用、職員間の感染予防対策、事業継続対策で休憩場所を分ける等、感染予防対策の徹底をしました。今後も各関係機関と連携を図りながら介護サービスを提供していきます。

| | | | | | | | |
|--------|-----|----|---|-----|----|-----|-----|
| 【職員体制】 | 職員数 | 女 | 男 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート |
| | 20 | 20 | 0 | 3 | 2 | 9 | 6 |

| | | | | |
|--------|----------|---------|---------|-----------|
| 【利用者数】 | | 要介護 | 要支援・総合 | 合計 |
| | 1日平均訪問回数 | 33.4 回 | 4.4 回 | 37.8 回 |
| | 月平均訪問回数 | 1,014 回 | 132.8 回 | 1,146.8 回 |
| | 月平均利用者数 | 82 人 | 23.8 人 | 105.8 人 |

| 年度 | 実績額 | 延利用回数 | 対前年比 |
|-----|------------|--------|------|
| H29 | 83,500,462 | 23,404 | 92.7 |
| H30 | 83,122,893 | 22,412 | 99.5 |
| R1 | 79,853,246 | 20,845 | 96.1 |
| R2 | 74,457,287 | 18,375 | 93.2 |
| R3 | 67,928,841 | 17,310 | 91.3 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減 | 令和2年度 | |
|-----------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 1日当りの訪問回数 | 38 | 60 | -22 | | |
| 介護合計 | 985 | 1,009 | -24 | 37 | 18 |
| 支援・総合合計 | 286 | 243 | 43 | 8 | 2 |
| 利用者実績合計 | 1,271 | 1,252 | 19 | 45 | 20 |

【事故報告】

- ・やかんをガスにかけていた事を忘れてそのまま退出する。
- ・駐車時、利用者宅の庭のブロック塀に前バンパー接触し破損。
- ・訪問時反射式ストーブの消し忘れあり。

3-3 訪問入浴事業

訪問入浴は、在宅で過ごされている介護度の高い方が利用されています。利用者が安心・安全に入浴でき、家族の負担が軽減できるようサービスを行っています。体調が回復され、利用中止となった方も2名おり、長年にわたり利用された方の、死亡による利用中止も多くありました。令和3年度も減少傾向が続いており、週3日の稼働となっていますが、今後も利用状況に合わせた訪問入浴の在り方を検討していく必要があります。

※他の事業と兼務する職員あり

| 職員数 | 女 | 男 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート | 介護員 | 看護師 |
|-----|---|---|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 6 | 3 | 3 | 3 | 1 | 0 | 2 | 4 | 2 |

| | 要介護 | 要支援・総合 | 合計 |
|-----------|-------|--------|-------|
| 月平均延べ利用者数 | 53.7人 | 0 | 53.7人 |
| 1日平均利用者数 | 4.2人 | 0 | 4.2人 |

| 年度 | 実績額 | 延利用回数 | 対前年比 |
|-----|------------|-------|-------|
| H29 | 15,621,670 | 1,033 | 111.8 |
| H30 | 14,151,160 | 911 | 88.2 |
| R1 | 13,692,377 | 871 | 95.6 |
| R2 | 13,504,363 | 819 | 94.0 |
| R3 | 10,392,360 | 644 | 78.6 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減 | 令和3年度 | |
|-----------|-------|-------|------|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 1日当りの訪問回数 | 4.2 | 5.6 | -1 | | |
| 介護合計 | 644 | 819 | -175 | 4人 | 7人 |
| 支援・総合合計 | 0 | 0 | 0 | 0人 | 0人 |
| 利用者実績合計 | 644 | 819 | -175 | 4人 | 7人 |

【報告事項】

- ・事故報告：無し
- ・アールス敷地内に車庫を新設したことで、冬季間の車両の凍結等を防げるようになった

3-4 グループホームかっこう(認知症対応型共同生活介護)

今年度は、要介護1の利用者が増えておりますが、認知症の行動・心理症状が強く出ている方もおります。いかに共同生活の中で穏やかに過ごしていただけるか検討し、体調面や精神面の相談等、ご家族や医療機関、訪問看護「すみちゃん」、隣接のデイの看護師に協力していただきながら対応してまいりました。コロナ禍のため、ご家族との交流は減少しておりますが、電話や玄関先での面会等で出来るかぎり対応いたしました。これからも、お互いを認め合いながら、出来る事を行ない、生活に意欲を持って、笑いのある生活を送れるように努めてまいります。

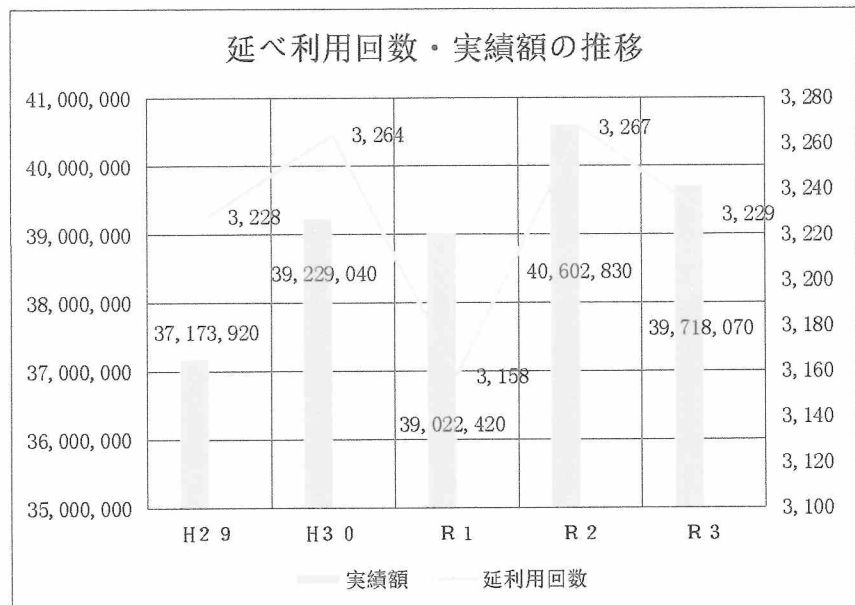
※他の事業と兼務する職員あり

| 【職員体制】 | 職員数 | 女 | 男 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート |
|--------|-----|---|---|-----|----|-----|-----|
| | 11 | 9 | 2 | 3 | 0 | 3 | 5 |

| 【利用者数】 | 要介護1 | 7人 | 要介護4 | 0人 |
|--------|------|----|------|----|
| | 要介護2 | 0人 | 要介護5 | 0人 |
| | 要介護3 | 2人 | 合計 | 9名 |

R4年3月31日現在

| 年度 | 実績額 | 延利用回数 | 対前年比 |
|-----|------------|-------|-------|
| H29 | 37,173,920 | 3,228 | 100.0 |
| H30 | 39,229,040 | 3,264 | 105.5 |
| R1 | 39,022,420 | 3,158 | 99.5 |
| R2 | 40,602,830 | 3,267 | 104.1 |
| R3 | 39,718,070 | 3,229 | 97.8 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減 | 令和3年度 | |
|---------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 要介護1 | 82 | 48 | 34 | 3人 | 2人 |
| 要介護2 | 1 | 24 | -23 | | |
| 要介護3 | 24 | 24 | 0 | | |
| 要介護4 | 1 | 12 | -11 | | |
| 要介護5 | 0 | 0 | 0 | | |
| 利用者実績合計 | 108 | 108 | 0 | | |

【事故報告】

・令和3年11月 入浴後、脱衣所で滑って転倒 左足裂傷、内出血(骨折なし)

3-5 とだて通所介護事業所(デイサービス事業)

デイサービス利用者の減少に伴い、以前から要望があったリハビリ部門が、9月から週2日(火・金)で始まりました。その準備の為7月からデイサービスを週4日(月・水・木・土)として、同意を得られた方はアンルスへ移行し、利用回数の多い方はとだて、アンルス併用とさせていただきます。火・金の「とだてリハ」は、介護予防・身体機能維持向上を主目的とした方の利用となり、入浴・昼食無しで午前中のみの利用としています。サービス内容については、まだまだ試行錯誤を重ねていますが、希望者は順調に増えてきました。次年度も内容の見直しを行いながら、とだてでの活動が利用者の日常生活の向上に繋がるよう支援していきます。

※他の事業と兼務する職員あり

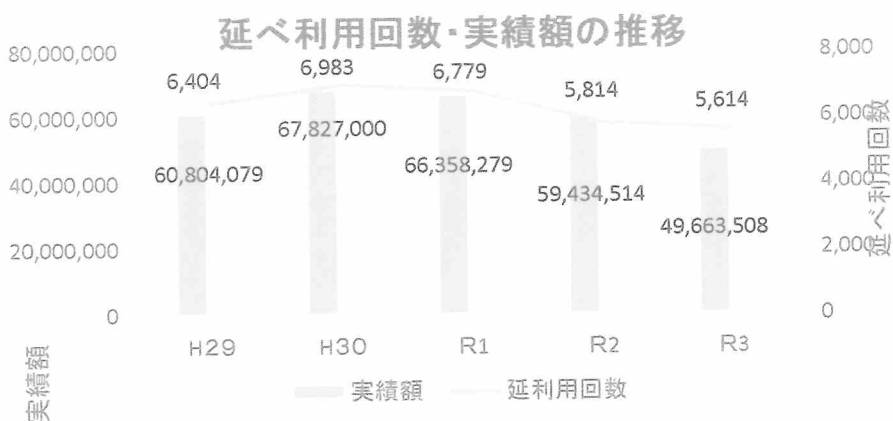
| 職員数 | 男 | 女 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート | 相談員 | 看護師 | 機能訓練 | 介護員 | 調理師 |
|-----|---|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 15 | 4 | 11 | 6 | 0 | 3 | 6 | 3 | 4 | 3 | 6 | 1 |

【利用者数】

定員
月・水・木・土 25名
火・金 1単位 20名

| | 要介護 | 要支援・総合 | 合計 |
|-----------|-------|--------|-------|
| 1日平均利用者数 | 16.2人 | 5.0人 | 21.2人 |
| 月平均延べ利用者数 | 357人 | 110人 | 467人 |
| 利用割合 | 70% | 30% | 100% |

| 年度 | 実績額 | 延利用回数 | 対前年比 |
|-----|------------|-------|-------|
| H29 | 60,804,079 | 6,404 | 99.2 |
| H30 | 67,827,000 | 6,983 | 111.6 |
| R1 | 66,358,279 | 6,779 | 97.8 |
| R2 | 59,434,514 | 5,814 | 89.6 |
| R3 | 49,663,508 | 5,614 | 83.6 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減 | 令和3年度 | |
|-----------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 1日当りの利用者数 | 21人 | 17人 | 4 | | |
| 介護合計 | 566 | 487 | 79 | 15 | 10 |
| 支援・総合合計 | 276 | 141 | 135 | 33 | 5 |
| 利用者実績合計 | 5,614 | 5,814 | 218 | 48人 | 15人 |

【事故報告】

・転倒事故が4件あり、そのうちの3件は病院受診しました。幸い軽症で現在も変わりなく利用されています。

3-6 アンルス通所介護事業所(デイサービス事業)

アンルス利用者のうち、中重度者(要介護3～5)の占める割合は30.0%を上回る状態で推移しています。総合事業の利用者は、秋ごろから増加しています。とだてりハ開始に合わせ、6月からは9名の利用者を新たに受け入れました。

昨年度のホール内の遮光対策に引き続き、8月にはエアコンが設置され、夏の暑さ対策が完了しました。加齢や既往症など利用者個々が持つ健康などの不安を軽減し、安心してサービスを利用できるよう職員一同で心掛けています。家族の都合に合わせて、早朝(7:30～)の受け入れなども行い、在宅サービスの充実に努めています。今後も生活等での課題解決に向け、本人や家族、関係機関と連携を深めながら、柔軟かつ的確に対応できるサービスの構築に努めてまいります。

| 男 | 女 | 職員数 | 正職員 | 嘱託 | 準職員 | パート | 相談員 | 看護師 | 介護員 | 理学療法士 | 調理師 |
|---|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 6 | 11 | 17 | 8 | 1 | 2 | 6 | 4 | 5 | 8 | 0 | 1 |

※他の事業と兼務する職員あり

| | 要介護 | 要支援・総合 | 合計 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 35人定員 | | | |
| 1日平均利用者数 | 20.7人 | 3.6人 | 24.3人 |
| 月平均延べ利用者数 | 525.5人 | 92.6人 | 618.1人 |
| 利用割合 | 85% | 15% | 100% |

| 年度 | 実績額 | 延利用回数 | 対前年比 |
|-----|------------|-------|-------|
| H29 | 71,761,642 | 7,870 | 98.4 |
| H30 | 72,422,316 | 7,736 | 98.3 |
| R1 | 71,643,639 | 7,601 | 98.3 |
| R2 | 71,159,804 | 7,332 | 96.5 |
| R3 | 70,952,927 | 7,417 | 101.2 |



【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和2年度 | 令和2年度 | 増減 | 令和2年度 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 1日当りの 利用人数 | 24.3 | 24.4 | 0 | | |
| 介護合計 | 6,312 | 6,645 | -333 | 5人 | 12人 |
| 支援・総合合計 | 1,100 | 687 | 413 | 7人 | 1人 |
| 利用者実績 合計 | 7,417 | 7,332 | 85 | 12人 | 13人 |

【報告事項】

- ・エアコン設置により、夏も快適に過ごせるようになった

【事故報告】

- ・送迎途中、利用者宅の石垣に車輛接触、破損
- ・大樹祭準備中、看板にぶつかり職員肋骨骨折
- ・送迎途中、利用者宅、玄関土台コンクリート部に車輛接触

3-7 障がい者福祉サービス支援

(訪問介護サービス)

障がい者の利用者の中には気仙管内の障がいサービス事業所を利用している方がいますが、気仙地区で新型コロナウイルス感染者発生時は作業所やデイサービスが休業しました。そのため自宅で過ごす利用者が増えたため、ヘルパー訪問を増やして対応してきました。町内で感染者が出た場合や、利用者が通所している事業所で感染者が出た場合の訪問時は防護服で対応するほか、利用者の方には感染予防対策についてのアドバイスも行いました。今後も新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、各関係機関と連携して利用者支援を行っていきます。

【利用者実績(要介護・介護予防)】

| | 令和2年度 | 令和1年度 | 増減 | 令和2年度 | |
|-----------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | | | | 新規利用者 | 利用中止者 |
| 1日当りの訪問回数 | 4 | 4 | 0 | | |
| 介護合計 | 94 | 111 | -7 | | |
| 支援・総合合計 | 0 | 0 | 0 | | |
| 利用者実績合計 | 94 | 111 | -17 | 2人 | 0人 |

(訪問入浴サービス)

今年度は利用がありませんでした。

3-8 高齢者福祉センター(アールス居住)

冬期間、自宅での一人暮らしが困難な方が利用してます。夫婦部屋も併せ、最大8部屋10名の方の利用が可能です。今年度は11月から、新規1人、継続2人の方が利用があり、道路・住宅事情など必要性を協議した上で、柔軟な活用がなされました。介護度の高い方の入居もあったことから、宿日直については初めて、社協職員での対応となりました。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 営業日 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 31 | 31 | 28 | 29 | 150 | 141 |
| 入居者数 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | 11 | 26 |

【報告事項】

- ・今年度から、宿日直を職員で実施した。
- ・利用者1名、デイサービス利用時に救急搬送、その後ご逝去。他1名体調不良で入院、2度目の入院後退居し自宅へ。
- ・今年度最後まで利用した1名も、介護度が重度化しており居住利用は今年最後となっている。